

貴社（者）としてネイティブティーチャーをどのように配置し、業務を遂行していくかについて記載してください。また、本業務の進行管理（スケジュール）について記載してください。記載に際しては、ネイティブティーチャーが事故等により不在となった場合に、同等の人員を配置するなど、業務の継続性を担保する貴社（者）の体制を明記してください。【片面1枚まで】

ネイティブティーチャーの配置計画

●配置予定人数：最大67名（配置計画によって変動の可能性有） ●総日数：11,753日

本業務の進行管理計画（スケジュール）

港区様NT派遣 年間工程計画	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A. 教育委員会・学校との連絡・調整														
①NT配置計画策定・派遣前説明会														
教育委員会・学校への聞き取り／配置NTの確定														
学校訪問(配置前挨拶・事前調整)														
幼・小・中学校教員向け説明会実施														
②月例定期ミーティング														
授業視察・個別研修状況の実施報告														
学校アンケートの実施と報告														
業務実施状況を踏まえた次学期打ち合わせ														
本年度の総括報告／次年度に向けた打合せ														
B. NTの採用・生活支援														
募集・選考（スクリーニング）														
事前確認・採用決定														
生活開始サポート（転居手続・電気ガス開線等）														
生活状況・業務状況の個別確認														
C. NTの研修・指導・評価														
採用時研修・配置開始前研修														
授業視察・個別研修														
月例NT研修														
学校アンケート結果の個別フィードバック														
NTとの次学期ミーティング(最終回は全体総括)														
D. 教員への支援・研修														
「港区国際科・英語科国際担当者」部会への出席														
担当者部会に関する教育委員会との打ち合わせ														
教育委員会への報告と次年度へ向けての相談														

業務の継続性を担保する体制

事故等によりNTが長期不在となった場合は、弊社が常時抱えている「代理専属NT」の中から、速やかに後任NTを選定し、派遣します。また、港区専属のヘッドティーチャーによる引継ぎなど、学校での業務の継続性を担保して参ります。

1 ネイティブティーチャー派遣に対する考え方について 【片面1枚まで】
港区の国際理解教育を踏まえ、ネイティブティーチャーを派遣する上で幼稚園、小・中学校の英語による活動を質の高い内容とするための貴社の方針を記載してください。

港区が掲げられている「**国際人育成の推進**」の方針及び目標を達成するために、NT派遣事業方針を定めました。全社一丸となった実行をお約束するとともに、**港区における「幼・小中一貫教育」の推進**も図って参ります。

港区基本計画：「子どもの個性、地域の特性を生かす学校教育を実施する」

④国際人育成の推進（港区にふさわしい教育）



(1)国際理解教育の充実

- ・小学校「国際科」中学校「英語科国際」設置
- ・小学生・中学生の代表者の海外派遣

目標（国際科）

英語による実践的コミュニケーション能力の基礎を培うとともに、広く世界に目を向けた国際理解教育を推進し、**国際人としての資質**を育成する。

(2)グローバル化への対応

- ・日本語適応指導員配置（帰国生・外国人）
- ・小学校の国際学級設置（東町・南山）
- ・中学校のネイティブコース設置（六本木）

目標（英語科国際）

英語による実践的コミュニケーション能力を養うとともに、広く世界に目を向けた国際理解教育を推進し、**国際人としての資質**を育成する。

港区NT派遣事業方針

「英語による実践的コミュニケーション能力」を育むために・・・

- ・児童・生徒が「**伝えたい!**」「**伝わった!**」と感じられる、NTとのコミュニケーションを授業内外で創出する
- ・発達段階に応じた効果的な指導を行うため、**日本人教員とNTとのチームティーチング**を推進する

「国際人としての資質」を育むために・・・

- ・児童・生徒が**外国の言語や文化に体験的に触れる機会**を授業内外で創出する
- ・自分の想いや考えを自信を持って英語で伝えられるよう、**技能統合型のアウトプット機会**を設ける

本年度から全園実施となる、**幼稚園へのNT派遣**を成功させるために・・・

- ・**日常の遊びの中でNTとやりとり**を行うことで、**英語や外国人に対して臆することなく、英語でコミュニケーションを取ることが楽しい**と思える園児を育ていく。

上記の事業方針に基づき、「幼稚園」「小学校」「中学校」それぞれの校種ごとに注力ポイントを設け、港区における国際人育成を推進して参ります。

【概要版】

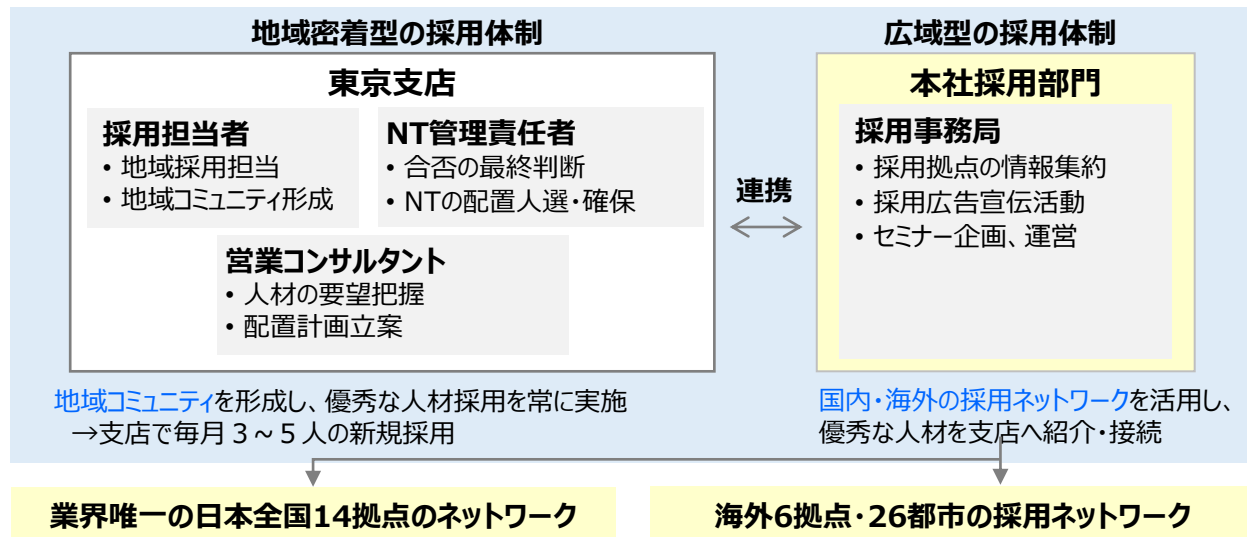
2 ネイティブティーチャーの採用・研修について 【片面1枚まで】

(1) ネイティブティーチャーの採用方法、雇用形態について記載してください。

下記の体制・方法を踏まえて、港区が掲げる目標を理解し、**港区で学ぶ児童・生徒の教育を任せるに足る優秀な人材**を確保しております。また、NTが安心して業務に専念できるよう、雇用条件・環境も整えております。

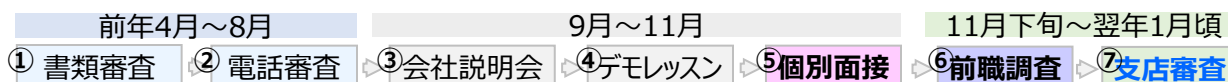
① 担当NTの採用体制

国内・海外の採用ネットワークを生かし、素質を備えた人材を安定的に採用できる体制を整えています。



② 担当NTの採用方法

採用基準・配点に基づき、**日本人・ネイティブ双方の視点から**7段階のステップで厳正に審査・選考を行います。



Step5	個別面接	日本人とネイティブ審査員がデモレッスンのフィードバック。弱点を指摘し、その反応をみて協調性を確認。同時に日本語力チェック
-------	------	--

③ 担当NTの採用基準

港区の子どもたちの学びに貢献できる、人間力の高い人材を採用します。

資質・能力	●日本の教育への関心と、そのために貢献する意欲 ●円滑なコミュニケーションに必要な協調性・柔軟性 ●児童・生徒にとって親しみやすい笑顔や朗らかさ ●業務を最後まで責任を持ってやり遂げる責任感 ●教育に携わる社会人としての常識やマナー ●心身共に健康、業務遂行に必要な体力・精神力 ●弊社の経営理念、教育基本理念等に共感	業務遂行力	●標準的で適正な教授言語の発話 ●表情・ジェスチャーを駆使した表現力 ●状況を的確に把握した上での行動力 ●より良い授業を行うためのアイデア
		学資位格	●ネイティブ、または同等の語学力 ●教授言語での12年間以上の教育 ●学士号の取得（取得見込み含）

④ NTの雇用形態

各種保険への加入に加えて勤務条件・待遇も整えるなど、派遣するNTが安心して業務に専念できるよう、努めております。

※ 印刷はA4サイズとしてください。文字のサイズは原則として11ポイント以上とします。

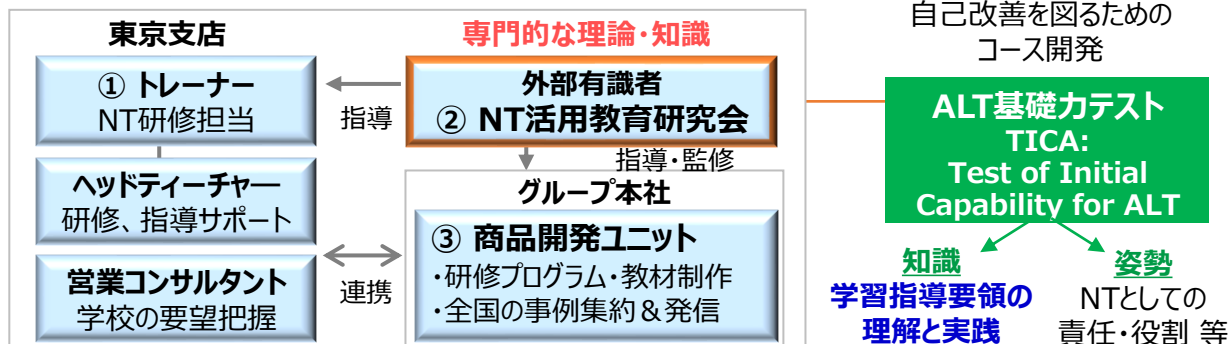
【概要版】

2 ネイティブティーチャーの採用・研修について 【片面1枚まで】

(2) ネイティブティーチャーの研修体制や内容について具体的に記載してください。

① 担当NTの育成・研修体制

実際の教室で求められるスキルと専門的な理論・知識を掛け合わせ、NTとして必要な「**姿勢**」「**知識**」「**技能**」を育成できる体制を整えています。



② 担当NTに対する研修内容

港区の教育方針や各校種の指導計画、発達段階に合わせ柔軟に指導できる力を年間を通して向上させていきます。また、研修で立てたアクションプランを現場で実践し、研修のたびに進捗確認をすることで軌道修正を図り、アクションプランに対するPDCAサイクルを徹底します。

件名	月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
採用時・再配置前研修	①採用時研修前準備 オンラインコース (15分×24コマ)	●											
	②日本語5級コース (全15課 20時間)	←年間を通して実施→											
	③採用時集合研修 Initial Training (5日間 計40時間)	●						●					
ALT基礎カテスト (TICA)		←年間を通して実施→											
配置後研修	④フォローアップ研修 (各5時間程度)		●					●				●	
	⑤スキルアップ研修 オンラインコース (計20時間)					●			●	●			
	⑥言語習得(指導)論 オンラインコース (計9時間)	←年間を通して実施→											
	⑦港区担当NT 定例研修会 (2時間/回)	←年間を通して、1回/月実施→											
	⑧授業オブザベーション	←年間を通して実施→											
	⑨NTメンター制度 個別面談・指導	←年間を通して実施→											

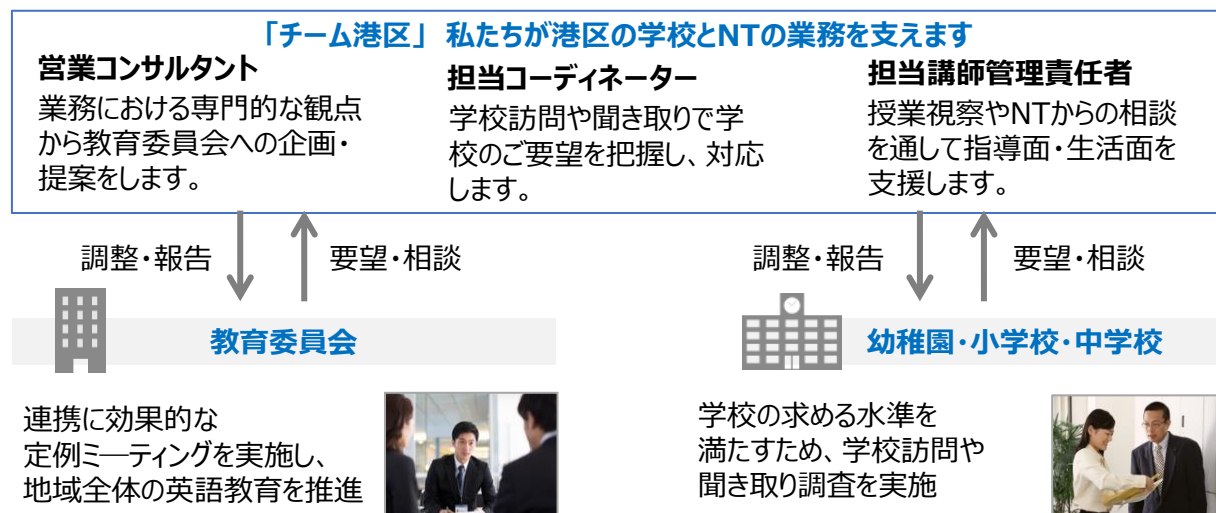
※ 印刷はA4サイズとしてください。文字のサイズは原則として11ポイント以上とします。

3 ネイティブティーチャー派遣の実施体制について 【片面1枚まで】

(1) 教育委員会事務局、幼稚園、小・中学校との連携体制について記載してください。

① 教育委員会・学校・NT・弊社の4者間連携体制

安定的、効果的なNT派遣を実施するためには、教育委員会・学校との緊密な連携とNT事業との協働が重要と考えます。そのために、NTを含む弊社と**教育委員会・学校が目標や方針を共有し、しっかりとコミュニケーションを図ることができるよう**、弊社は以下のようなアプローチで一体感を醸成します。



② 教育委員会との連携

教育委員会との連携（定例ミーティングの実施）

- 学校からのご相談、ご要望、NTの業務状況に関する情報共有
- NT業務に関する学校アンケート調査結果の報告
- 弊社プロダクト開発グループによる最新英語教育情報等の提供
- NTを活用した評価プログラムの提案・支援
- 日本人教員のためのスキルアッププログラムの提案
- 港区独自の取り組み等のご要望・ご依頼への対応など



③ 幼稚園、小学校、中学校との連携

園・学校との連携（定期訪問での聞き取り）

- 定期的な園・学校訪問での授業履行状況の確認
- NT研修進捗、改善報告を実施
- 効果的なNT活用のアドバイス
- NTを活用した校内研修の提案、研究授業でのNT活用の提案
- 授業外でのNT活用、学校行事の提案、事例紹介など

④ NTとの連携・労務管理体制

NTとの連携（月次フォロー＋個別対応）

- エリアミーティング、研修の開催（PDCAサイクル：現状把握、改善提案…）
- 幼稚園での取り組みの共有、課題、成功事例
- 国際科、英語科国際における効果的な指導の研究、研究校勤務NTの事例共有
- 研究校勤務NTの事例共有
- 幼小中学校での評価プログラムに関する研修
- 外部検定試験、スピーチコンテストなどの実施における指導の補助等

【概要版】

3 ネイティブティーチャー派遣の実施体制について 【片面1枚まで】

(2) 幼稚園幼児への指導方法・内容について記載ください。

小・中学校を通じて、港区の中で育んでいく「国際人としての資質」育成の前段階として、幼稚園では、**日常の遊びの中でNTとやりとり**を行うことで、**英語や外国人に対して臆することなく、英語でコミュニケーションを取ることが楽しい**と思える状態に全ての園児を育てていくことが大切だと考えます。

①指導方法

幼稚園教育要領の示す5つの領域「**健康**」、「**人間関係**」、「**環境**」、「**言葉**」、「**表現**」をバランスよく育むことを目的とし、体を動かし、友だちとの関わりを大切にしたり、自然に触れたりしながら、豊かな言葉や表現を引き出す教育を目指します。

領域	ねらい	NTによる指導
健康	<ul style="list-style-type: none"> 明るく伸び伸びと行動する 進んで運動をしようとする積極性を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ALTとの触れ合いは身体全体を動かすゲームや遊びを中心とする
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 行動することの充実感を味わう 人と関わり愛情や信頼関係を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 英語に触れながら友達と一緒に遊ぶ 幼児が自信を持ち自立心を持てるよう、褒める
環境	<ul style="list-style-type: none"> 事象に興味関心を持つ 発見を楽しみ考え、生活に取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> 季節の話題を取り上げる 絵カード等を使って、数字・形・動物等に親しむ
言葉	<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちを表現する楽しさを味わう 言葉に親しみ伝えあう喜びを味わう 	<ul style="list-style-type: none"> 英語の歌、絵本、挨拶等を通じて、自分の気持ちを表現したり、英語の音に親しむ
表現	<ul style="list-style-type: none"> 様々な音楽・色・形・素材に触れる 自由に思いを表現する 	<ul style="list-style-type: none"> 英語の歌に親しむ ダンス・演技・絵等で思いを自由に表現する

英語のレッスン形式の活動だけでなく、**自由遊びの自然な設定**の中で英語を使ったコミュニケーションを取りながら、**英語を身近に感じさせ、英語でのコミュニケーションは楽しかったという経験や体験**を園児の中に育んでいきます。

②指導内容

年少・年中・年長それぞれのクラスにおいて「**月ごとの目標表現**」を設定します。

日常の遊びや生活の中で楽しみながら繰り返し表現に慣れ親しむことが出来るよう、下記の絵本や歌などを使った指導を行います。

年少クラス 「Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?」

年中クラス うた「Are you hungry?」

年長クラス 英語劇「Three little pigs」



【年間指導計画（年少クラス_抜粋）】

英語の活動の目標表現・年間計画（一部抜粋）

4月	挨拶(Hello, I'm~, goodbye and see you), 遊びの表現1(here you are, thank you thank you and I'm sorry).
5月	教室内外の物(It's a: chair, doll, ball, LEGO block, leaf, flower, sandbox, toy car)etc., What's this? What do you see? I see a~: brown bear , yellow duck, purple cat, red bird, white dog, black sheep, blue horse, goldfish and a teacher.
6月	遊びの表現2(Let's: run, jump, sing, dance, touch, wiggle, stop, go, hop, yes, no thank you, ok!) It's rainy, it's a frog, it's a snail, it's an umbrella, rainboots. What's this? What do you see? I see a~ looking at me.

【概要版】

3 ネイティブティーチャー派遣の実施体制について 【片面1枚まで】

(3) 小学校児童への指導方法・内容について記載してください。

①指導方法

幼稚園段階で英語に慣れ親しんできた児童に対して、外国語（英語）で伝え合う必然性のあるNTが、適切な目的・場面・状況の設定を通じて、**子どもの「伝えたい」という意欲を高め、さらなる学習への動機付け**をすることが小学校段階では大切であると考えます。

【言語習得論に基づいた適切な指導アプローチ】

■主な変更点（学習指導要領改訂前後の対比）

改定前	・文字が先 ・言葉を習う ・文脈と切り離す	➔	改定後	・音が先 ・言葉を使う ・文脈の中で	■ポイント ・部分的な情報より、 概要をとらえる ・ まずかたまりで聞く・読む・使ってみる ・ 文法は後出し （コミュニケーションのために、コミュニケーションを通して文法を学ぶ）
------------	-----------------------------	---	------------	--------------------------	--

小学校の指導で大切にすること

- ① たった慣れ親しんだ**「音声」と意味のつながり**を、NTは丁寧に「文字」へ、そして「読む」「書く」へと接続
- ② NTとの**「体験的な学び」**を大切に、他者を意識したコミュニケーションの姿勢を育成
- ③ 中学校でのさらなる学習への動機付けを意識し、NTは**文構造や語順への気づきを促す**

②指導内容

高学年はNew Horizon Elementary、中学年はLet's Try 1,2を活用、その他、港区オリジナル教材である「Tomorrow」や「Welcome to Tokyo」など学校の先生方のご要望に沿って、クラスの英語力・異文化理解を考慮した指導内容を提供致します。

【弊社開発 教科書準拠指導案】
NT活用指導案&オリジナル教材
NTを活用して教科書に沿った
言語活動の授業ができる



【授業外活動事例集】

授業外でのNT活用事例集を作成致しました
子どもたちとのコミュニケーション発話を
促す指導を実施致します



【国際理解】授業の導入時には、**単元の内容についてNTの母国ではどうなのか等、母国の文化を紹介し**、児童に授業の見通しを持たせる工夫を行います。また、港区や日本での違いについて気づきかけづくりをします。

【英語力】アドバンスクラス対応教材

レギュラークラスと同じ教科書に準拠した内容を実施するに当たり、アドバンスクラスの児童のレベルに合った知的好奇心を満たす必要があります。弊社では長年に渡り、様々なレベルに合った授業を担当しているベテランNTが作った教材を共有し、多様な児童と一緒に学習する環境でも「皆が主役」になれる授業づくりを致します。



児童間で差が大きく出てしまうのがライティング。
スピーチを作成し、発表する活動が多い中で、
スペル練習も「皆が主役」になれる大切な要素の1つです

【概要版】

- 3 ネイティブティーチャー派遣の実施体制について 【片面1枚まで】
(4) 中学校生徒への指導方法・内容について記載してください。

港区立中学校「英語科国際」目標

英語による**実践的コミュニケーション能力**を養うとともに、
広く世界に目を向けた**国際理解教育**を推進し、**国際人としての資質**を育成する。

幼稚園から小学校にかけて育んできた「英語による実践的コミュニケーション能力」、「国際人としての資質」を更に効果的に伸ばしていくため、中学校の指導では**4技能のバランスが取れたアウトプット機会の提供と、英語使用に対する自己効力感**を高めていくことが必要であると弊社では考えています。

①指導方法

NTの多彩なアプローチで子どもの「自分で考え、気付こうとする力」を育んだり、生きた英語や異文化に触れることで、**子どもが興味関心を持ちながら“自信”がつく授業を提供**します。

Example（豊富な例示）

ニュアンスが掴みづらい単語等は**具体例を示したり表現を変えて伝える**

単語表現が抽象的な場合は、先生の上にNTが**具体例を示したり表現を変えて**子どもの**意味推測**を促すことで、子どもの「自分で考え、気付こうとする力」が自然に育まれます。

Repetition（繰り返し）

大切な表現は自然なイントネーションで繰り返す

大切な内容や表現は、子どもや先生の上に**自然なイントネーションで繰り返す**ことが、子どもにとっての良質なインプットに繋がります。

Recast（言い換え）

指摘するのではなく、肯定的に、そして自然に訂正する

子どもの発話に誤りがあるとき、正しく言い直してあげたり**別の表現で言い換えて**あげます。

Culture（文化）

NTの母国文化と関連付けて、世界と繋げる

授業の題材について、**母国の文化と関連付けて**紹介します（ビジュアルエイドも活用）。

②指導内容

【英語科国際】指導内容例（一部）

・ Movie Review Project:

ある映画に関する自分の感想等を話す練習をし、最後に生徒がクラスの前で自分の好きな映画について理由を合わせて発表する。

・ Make a Comic:

会話が空白の4コマ漫画に自分なりにストーリーをつくり、空欄を埋める。最後に自分のストーリーを発表する。



ワークシート

提案

シンガポールへの修学旅行事前学習：現地情、法律、マナー、文化の違い、金貨等ビジュアルも使いながら、NTがインプット・旅行先での会話シーンを想定したアウトプット機会も提供し、ワクワク感を醸成します。

- 3 ネイティブティーチャー派遣の実施体制について 【片面1枚まで】
 (5) ネイティブティーチャーの勤務評価及び評価後の指導体制について記載してください。

① NTの勤務状況把握方法

① 派遣開始直後及び・必要に応じて実施する電話ヒアリング

学校年度開始後、**港区での業務開始後NTの様子を確認します**。課題が見受けられる場合は、学校訪問、授業観察、個別研修を行い、課題の解決を図ります。

② 定常授業観察

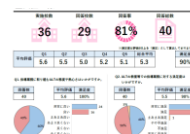
勤務状況の把握及び教室内での指導状況確認のために授業観察を行い、授業観察後に個別フィードバックを行います。授業観察では**評価観点**を設け、多角的に指導内容・技術を評価します。原則として、教育委員会とご相談の上、対象講師・実施時期等の詳細を決定いたします。

③ 必要に応じて実施する個別の授業観察・指導書による改善

個別の対応が必要なNTには、②の定常授業観察とは別に、**その課題が解決されるまで学校訪問、授業観察、個別研修を繰り返し**行います。但し、**改善状況が思わしくない場合は、教育委員会・学校のご了承を頂いた上、速やかに講師交代**を図るものとします。

④ NTに関するアンケート

全NTに対する学校の満足度を確認するためのアンケートを実施します。アンケートを実施した結果、低い**評価項目や、気になるコメントについては、電話や学校訪問によりヒアリング**させていただき、必要に応じて**授業観察を実施**します。その後、**個別面談やフォローアップ研修**によって改善を図ります。



⑤ 勤怠状況の評価

全NTの出勤時間と退勤時間、欠勤状況、休暇の取得状況等を以下の方法で把握しています。この記録に基づいて、勤怠評価を実施しています。

①東京支店
NT勤怠管理システム



②学校・教育委員会用
オンラインタイムシート



② NTの勤務評価、評価後の指導体制

NTの人事評価

上記①～⑤の結果を精査し、全てのNTを慎重に評価します。

- ①**一次評価**：担当支店にてNT管理責任者を中心に評議
- ②**二次評価**：支店長も参加し一次評価内容を精査
- ③**最終評価**：一次 & 二次会議を踏まえて会社代表者が最終評価

評価後の指導対応

× 改善が必要な場合(PDCAサイクルの徹底)

- ① 学校ヒアリング
- ② カウンセリング
- ③ 個別研修
- ④ 授業オプゼーション
- ⑤ OJT実施
- ⑥ 再度学校ヒアリング

○改善された
継続フォロー

×改善されない
再研修or交代

◎ 高評価の場合（評価A・B上位者）

- ① 研修にて自身の成功経験等を発表
- ② 研修にてトレーナーの補助役に抜擢
- ③ 表彰制度でアワードを授与

ヘッドティーチャー、トレーナーに昇格
(昇給・昇格あり)

【評価・指導体制】

人事評価決裁者
代表取締役

一次評価者
NT管理責任者

一次評価者
港区責任者

NT指導力評価
港区ヘッドNT

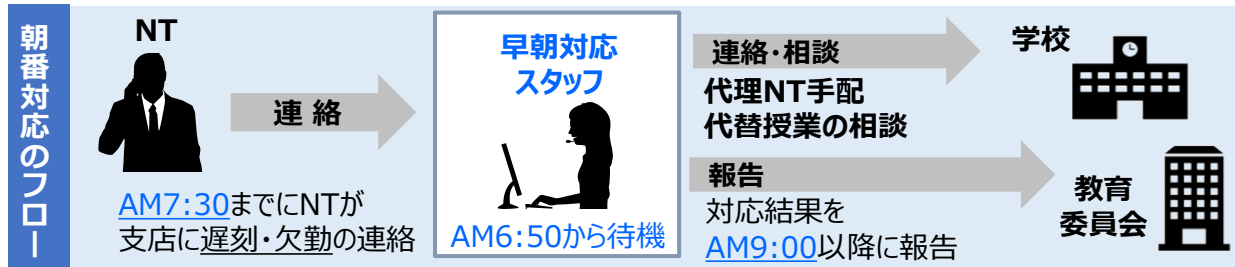
4 緊急時対応について 【片面1枚まで】

急な欠員が生じた場合、園児・児童・生徒や教員、保護者との間にトラブルが生じた場合の対応について記載してください。

① NTの急な欠員が生じた場合

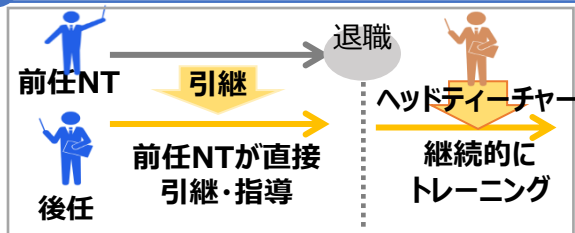
NTの退職など、やむを得ず欠員に伴う交代が発生した場合は、以下の通り迅速に対応します。子どもたちの学びを止めることはありません。

① 朝の連絡に備え、モーニングヘルプデスク（朝番）が待機しており、迅速に対応します。

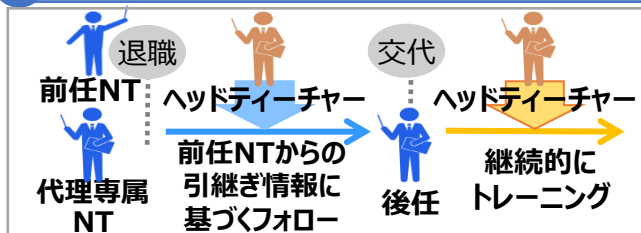


② NTの退職など、欠員に伴う交代が発生した場合は、以下の通り迅速に対応します。

1 NTの退職等、やむを得ず欠員に伴う場合



2 突然の退職により後任をすぐに用意できない場合



② 園児・児童・生徒・保護者・教員との間にトラブルが発生した場合

教育委員会とのミーティングや学校へのヒアリング等を通じて、**ご要望や苦情等の早期把握**に取り組み、**迅速に対応**して参ります。事案が発生した場合は、以下のような流れで対応します。

Step	内容	時間軸	(例)
Step 1	事実確認、内容精査 (学校訪問、先生方への聞き取り) お困りの声を頂いた際、当日中に迅速に訪問もしくは電話にてヒアリングを実施	当日	5/9
Step 2	NTとの事実確認、学校・教育委員会と方針報告 NTに対面で寄り添いながら事実確認をし、今後の方針を学校・教育委員会へ報告	翌営業日以内	5/10
Step 3	指導実施 (授業オブザベーション、OJT、フィードバック) 学校・教育委員会と訪問日程をすり合わせ、状況に合わせて適切に指導	7日以内	5/17
Step 4	指導内容に応じた個別フォロープラン実施 SETP3実施後、4週間に渡り授業オブザベーションまたはOJTを2回実施	約4週間実施	5/20 6/20
Step 5	継続または交代に関する決定、学校・教育委員会へ相談 改善状況を踏まえ、弊社にて継続または交代を判断し、学校・教育委員会へ相談	その後決定	6/20決定
Step 6	学校、教育委員会との最終調整 (事後の進め方等) 継続⇒年間指導プラン策定 & 実施 / 交代⇒後任の調整(1週間以内に決定)	随時	随時

※ 印刷はA4サイズとしてください。文字のサイズは原則として11ポイント以上とします。